

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	特定非営利活動法人マイ Way
-----	-----------------

取組の名称	子どもの発達支援及び子育て相談支援
実施場所	川崎市高津区下作延 6 丁目 4 番 3 号 エムズヒル マイ Way 会議室
対象地域	高津区内を中心とする近隣区
対象地域の 特色・課題	マンション増加と共に子育て核家族が増えている地域。発達支援が必要なお子さんに対しての事業所も多くあるが、学齢期は居場所的 なところが多く、個々の子どもの持つ発達課題に継続的に取り組む 事業所は限られている状況。
取組の趣旨・目的	子どものひとつひとつの行動を療育的視点からその意味を捉えて行動の理解をして子どもの発達成長を促すこと、また親が子どもを理解し日々の子育てに自信を持つことを目的とした。 保護者へ対し子育てへの安心感を持ってもらい、情報を整理しながら保護者と子どもへの持続した丁寧なサポートを目指した。
実施内容・実施ス ケジュール	キッズ教室：毎月第 1 土曜日及び第 3 土曜日 10 時から 16 時 事業所営業時間 8 時 30 分から 17 時 事前予約制 療育時間：一人 60 分（療育 40 分、振り返り 20 分、自由遊びも含む） 以下、活動概略 * 電話相談：集団の様子について相談があった。

<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>* 個別療育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未就学児は入学に向けて準備支援 ・ 就学児は学校の様子に合わせた活動を中心に活動プログラム作成 ・ 保護者へは「子どもの行動の意味」を踏まえ「子どもへの声掛け方」を示した。 ・ ビジョントレーニング・カードゲーム ・ 文字への興味、描画、絵本、言葉あそびを通じた認知課題 ・ 運動・制作活動・Zoom：クッキング・楽器あそび・玩具あそびなどを取り入れて療育活動を実施した。 		
<p>参加者の年代</p>	<p>幼稚園年長～小学校3年</p>	<p>定員（1回あたり）</p>	<p>1～2名</p>
<p>実施頻度</p>	<p>毎月第1、3土曜日</p>	<p>活動日数（年間）</p>	<p>21日</p>
<p>スタッフ体制</p>	<p>臨床発達心理士 保育士 1名 保育士 2名</p>		
<p>連携する団体・連携の手法</p>	<p>（株）日本ヴォーグ社 季節の手作りなど</p>		
<p>取組実施により見込まれた効果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一年間の療育活動を通じて、意識をしなければ見逃しそうな小さな子どもの変化を「発達の視点」で捉えていったことで「子どもの今」を保護者と共有できた。 2. 母親が子育ての不安が軽くなったことでより前向きに捉えるようになった。「学校、幼稚園の先生からの報告」への対応と一緒に考えることで「ひとりではない」という安心感が生じてきたなど保護者からは評価を得た。 3. 家族みんなで子どもの言葉や行動を受け止めながら余裕を持って協力的に接することが出来るようになったとの感想があった。 4. おたより帳を活用することで、家族と支援者で情報共有ができ、療育成果の変化も記録することでその後の課題も分かりやすくなった。 		